

# そらこめ通信 No.34 2013.05発行

日頃より弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。あれほどあった田んぼの雪も、4月に入ると春の嵐を凌ぐほどの強風や大雨がプラスに作用して順調に融け始め、今では昨年とほぼ同じペースの工程で農作業が進んでいます。

4月20日に今年の播種(はしゅ)作業が始まり4月29日に終わりました。後は苗が順調に育つことを祈りつつ移植の日を待つばかり…。播種開始日については計らずも昨年と同じ日になりました。

今年は従来の5つの品種に加えて「きたくりん」が新たに仲間入りしました。この愛らしい名前の新品種「きたくりん」は、「ふっくりんこ」を父に持つ良食味米で、旧系統名を「空育172号」といい、長沼町にある中央農業試験場が開発、昨年北海道から優良品種に認定されたお米です。特徴としては、食味の良さのほか、強いイモチ病耐性、割粃の少なさ等が挙げられます。割粃が少ないということは、カメムシ被害の抑制にも一定の効果があるということ。先のイモチ病耐性と併せると薬剤防除を削減することができる品種であると言えます。とはいえ、まだまだ出来立てほやほやの品種。これから名実共に大きく育てていかなければならない品種の一つであることに変わりはありません。

少しでも安全で美味しいお米を届けたい…。

今年の出来秋の楽しみが一つ増えました。



播種に使う土作り(4月4日)



育苗ポットの準備(4月5日)



育苗ハウス前の風景(4月5日)



ハウスの中で昇降機の組み立て(4月5日)



灌水パイプの取り付け(4月6日)



融雪剤が撒かれた田んぼ(4月6日)



4月6日現在、積雪が136cmありました



雑木の伐採作業(真ん中の写真)(4月8日)と、後片付け(右の写真)(4月9日)



手押し車で肥料散布(4月10日)



小型耕耘機で耕起作業(4月10日)



早朝の育苗ハウス(4月12日)



耕起した土を均す木村社長(4月15日)



小型トラクターで耕起作業(4月15日)



播種作業が始まりました(4月20日)



手際よく作業をこなす職員たち(4月20日)



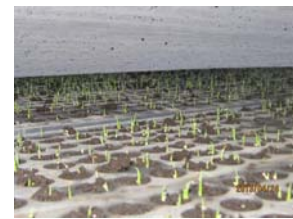
播種作業が進む育苗ポット(4月20日)



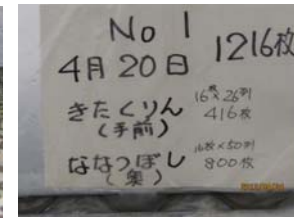
ポットを丁寧に並べる作業(4月20日)



播種されたハウスの中(4月24日)



小さな苗が顔を出しました(4月24日)



新品種「きたくりん」のハウス(4月24日)

播種が終わったあと、育苗ハウスの中で育つ苗はとても繊細です。この時期は天気が変わりやすく雪が降ることもしばしば。寒さ対策は勿論ですが、急激に温度が上がる日もあり、苗の管理には細心の注意を払う必要があります。今年は新品種「きたくりん」が新たに仲間に加わりました。最後まで最善を尽くして育てたいと思います。どうぞお楽しみに…。

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
 ブログ「生産日誌」更新中です